

## 編 集 後 記

『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』第26号をお届けいたします。本年報は「外国語を母語とする学習者を対象とした日本語・日本事情教育に関する研究および異文化間交流に関する研究を促進するため」の刊行物と位置づけられています。本号でも、この趣旨に適う日本語教育学、日本語学、言語学、仏教学、日本文化論の多彩な論点による8編の論考が掲載されています。ご執筆いただいた先生方に深く感謝申し上げます。

本号の田尻英三先生による論考のご指摘にあるように、外国人の往来が激増する現在の日本にとって外国人労働者の問題は重要な課題の一つであり、これらの課題のなかには「外国人労働者の受け入れ」と「日本語教育施策」の問題といった解決すべき事項が山積しています。国際社会の変貌とともに日本および日本語をとりまく環境が日々刻々と変化するなかで、これまで本誌が担ってきた役割と同様に、今後も本誌がこうした変化をめぐる諸課題への有益な分析や解決策に寄与する刊行物であり続けることを切に願います。

なお、本号の後半部にある「グローバル教育推進センター活動記録・データ集」には2016年度の本学グローバル教育推進事業の成果を掲載しています。先生方の論考と併せてご参照ください。

(第26号編集委員長 小長谷 大介)